

## ●最近の県内経済

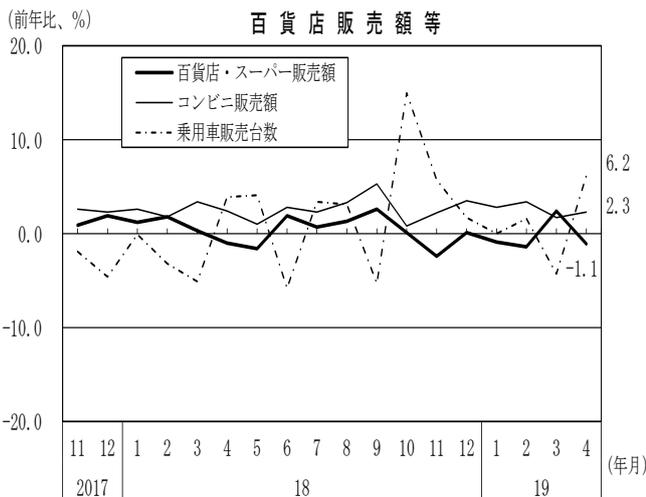
**基調判断**  
(2019年4月を中心として)



### 今月の概要

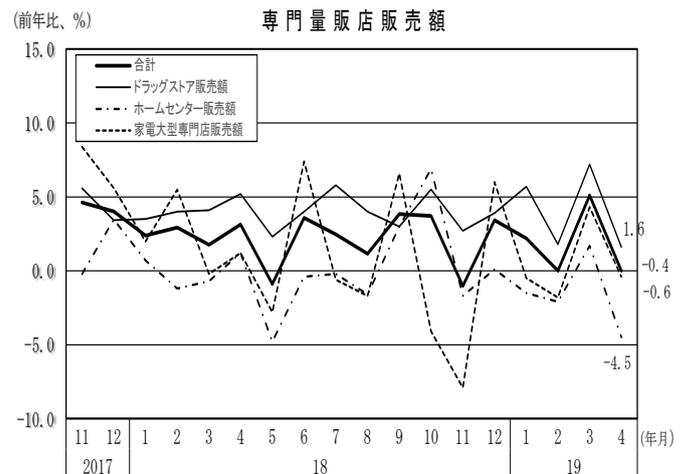
県内景気は、設備投資が減少し、生産活動が停滞するなど、弱含んでいる。

## 1 個人消費 持ち直し



(資料)経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

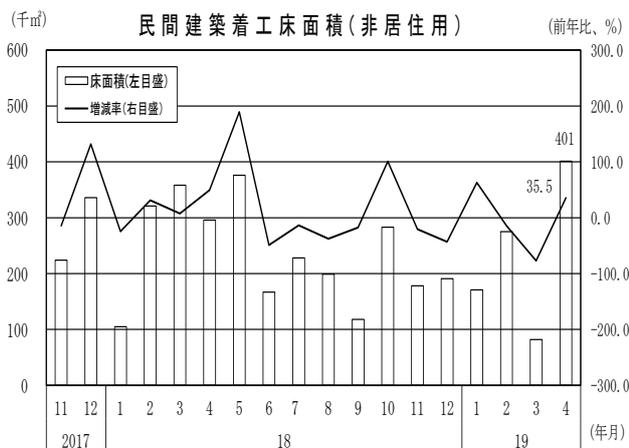
4月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、795億円で前年比1.1%減となった。百貨店は同5.0%減と引続き減少したほか、スーパーも同0.2%減と2か月ぶりに減少した。一方、コンビニ販売は、同2.3%増と堅調に推移している。乗用車販売(軽含む)は、同6.2%増と2か月ぶりに増加した。内訳をみると、小型車が同2.8%減少したが、普通車が同18.3%増、軽乗用車が同3.3%増となった。



(資料)経済産業省

4月の専門量販店販売額は、634億円で同0.6%減となった。内訳をみると、ドラッグストアは322億円で同1.6%増と引続き増加したが、家電大型専門店は140億円で同0.4%減、ホームセンターも171億円で同4.5%減となった。

## 2 設備投資 減少

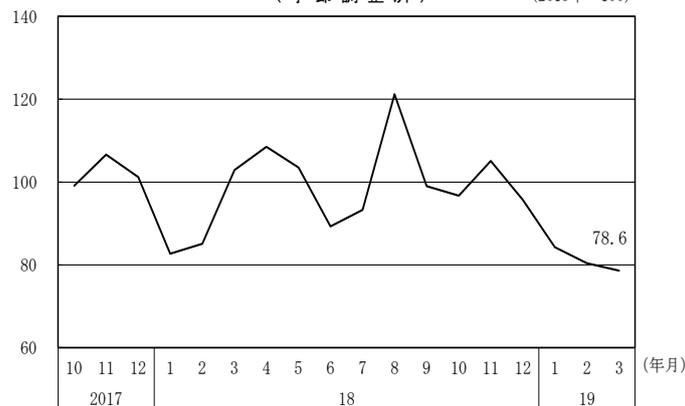


(資料)国土交通省

4月の民間建築着工床面積（非居住用）は、401千㎡で前年比35.5%増となったが、年初来累計では14.0%の減少。用途別にみると、事務所が減少したものの、店舗、倉庫、工場及び作業場などの用途で増加した。

資本財出荷指数  
(季節調整済)

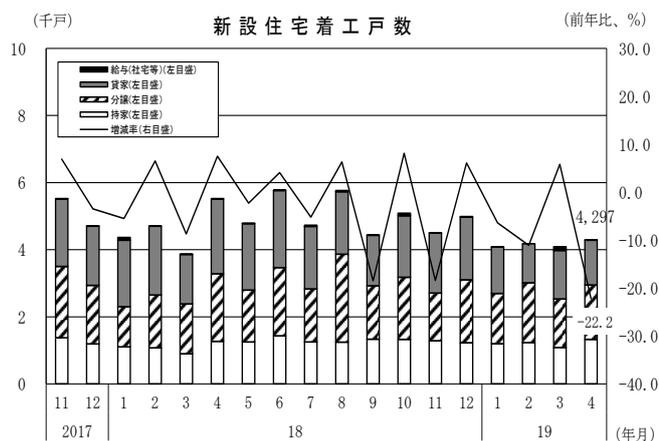
(2015年=100)



(資料)埼玉県

3月の資本財出荷指数（季節調整済）は、78.6で前月比2.2%低下した（4か月連続の低下）。

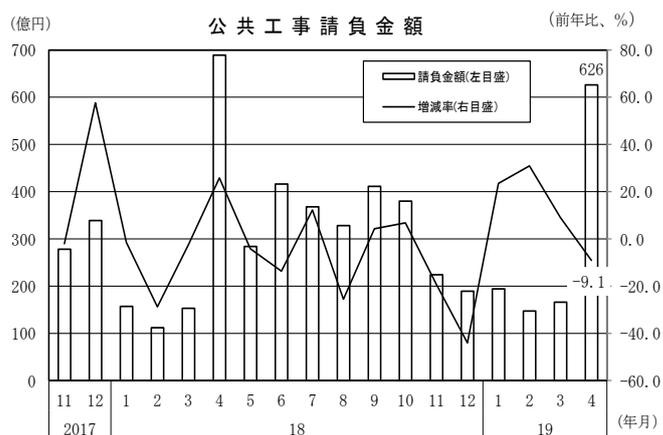
## 3 住宅建設 弱含み



(資料)国土交通省

4月の新設住宅着工戸数は、4,297戸で前年比22.2%減となった。利用関係別にみると、持家が1,330戸で同4.7%増加した一方、貸家が1,335戸で同40.3%減、分譲マンションが259戸で同56.8%減、分譲戸建てが1,361戸で同3.1%減といずれも減少した。

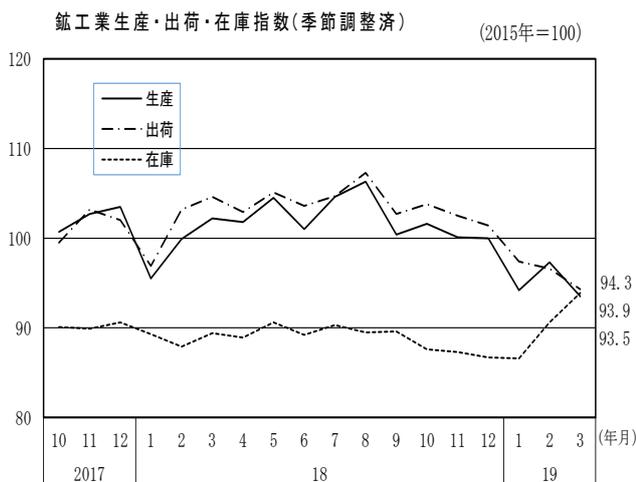
## 4 公共工事 横ばいの動き



(資料)東日本建設業保証株式会社

4月の公共工事請負額は、626億円で前年比9.1%減少したが、年初来累計では2.0%の増加。4月単月を発注者別でみると、独立行政法人等、市町村が増加したが、国、県などが減少した。

## 5 生産活動 停滞

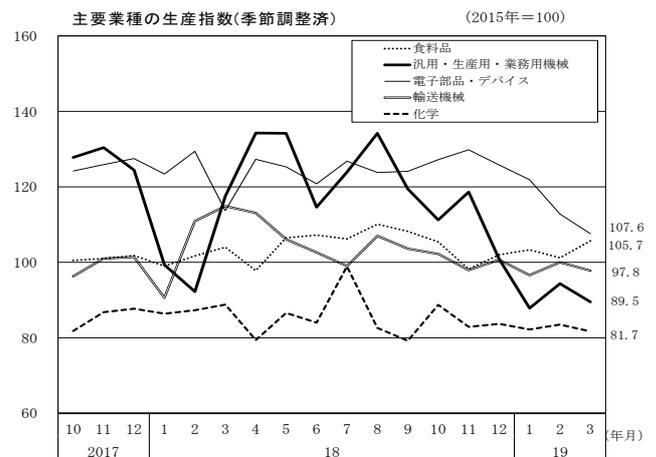


(資料)埼玉県

3月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、93.5で前月比3.9%低下した(2か月ぶりの低下)。食料品(炭酸飲料)、生産用機械(半導体製造装置)などが上昇したが、業務用機械(精密測定機)、情報通信機械(カーナビゲーション)、プラスチック製品(プラスチック製容器)などが低下した。

出荷指数(同)は、94.3で同2.4%低下した(5か月連続の低下)。生産用機械(半導体製造装置)、食料品(炭酸飲料)などが上昇したが、業務用機械(精密測定機)、輸送機械(乗用車)、非鉄金属(アルミニウム圧延製品)などが低下した。

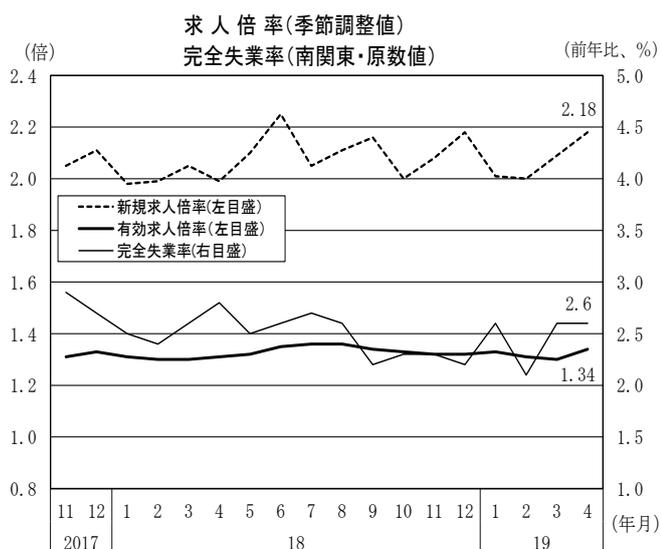
在庫指数(同)は、93.9で同3.6%上昇した(2か月連続の上昇)。汎用機械(汎用内燃機関)、ゴム製品(工業用ゴム製品)などが低下したが、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙)、金属製品(アルミエクステリア)、プラスチック製品(プラスチック製容器)などが上昇した。



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、105.7で前月比4.4%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、89.5で同5.1%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は107.6で同4.6%低下し、4か月連続の低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、97.8で同2.2%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 化学(同)は、81.7で同2.2%低下し、2か月ぶりの低下となった。

## 6 雇用情勢 着実に改善

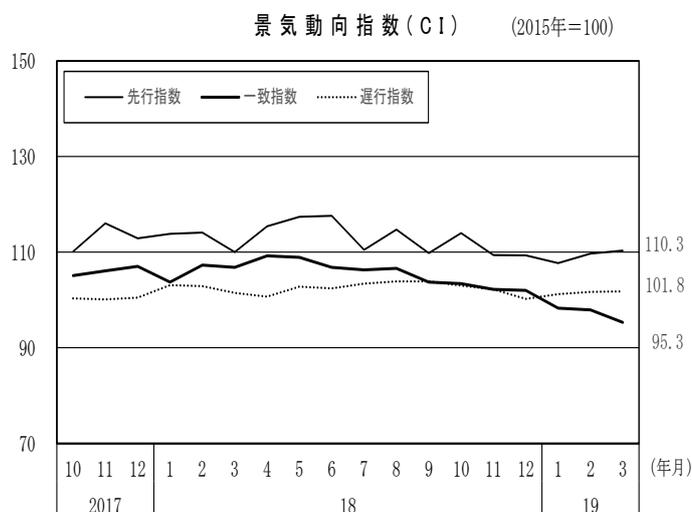


(資料)厚生労働省、総務省

4月の有効求人倍率(季節調整済)は1.34倍で前月比0.04ポイント、新規求人倍率(同)は2.18倍で同0.09ポイント、ともに上昇した。完全失業率(南関東、原数値)は、2.6%で前月比横ばい。

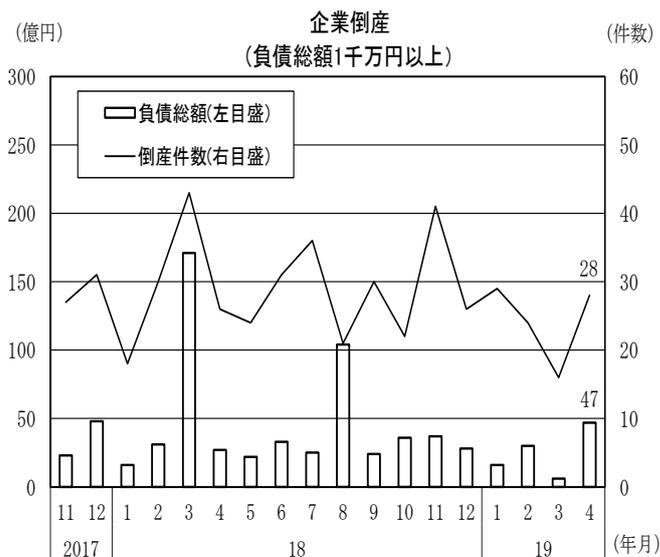
## 〈参考〉

### 景気動向指数(CI) 悪化を示している



(資料)埼玉県

## 7 企業倒産 件数、金額ともに増加



(資料)帝国データバンク

4月の企業倒産件数は28件で前年比2件の増加、負債総額は47億円で同20億円の増加となった。

業種別にみると、製造業、小売業がそれぞれ7件で最多となっている。次いで卸売業とサービス業がともに5件となっている。主因別では、販売不振が23件で最も多くなっている。

3月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、95.3で前月比2.6ポイント低下し、7か月連続の低下となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、110.3で同0.6ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、101.8で同0.1ポイント上昇し、3か月連続の上昇となった。